

Practitioner's Docket No.: 008312-0308037
Client Reference No.: T4HW-03S0868-1

PATENT

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re application of: EISUKE MIYOSHI Confirmation No: UNKNOWN

Application No.: UNKNOWN Group No.: UNKNOWN

Filed: January 30, 2004 Examiner: UNKNOWN

For: RECEPTION APPARATUS AND METHOD

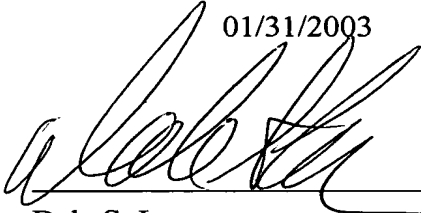
**Commissioner for Patents
Mail Stop Patent Application
P.O. Box 1450
Alexandria, VA 22313-1450**

SUBMISSION OF PRIORITY DOCUMENT

Attached please find the certified copy of the foreign application from which priority is claimed for this case:

<u>Country</u>	<u>Application Number</u>	<u>Filing Date</u>
Japan	2003-024860	01/31/2003

Date: January 30, 2004
PILLSBURY WINTHROP LLP
P.O. Box 10500
McLean, VA 22102
Telephone: (703) 905-2000
Facsimile: (703) 905-2500
Customer Number: 00909


Dale S. Lazar
Registration No. 28872

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2003年 1月31日

出 願 番 号

Application Number:

特願2003-024860

[ST.10/C]:

[JP 2003-024860]

出 願 人

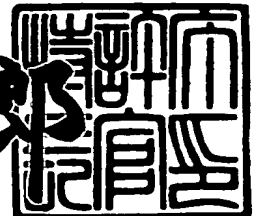
Applicant(s):

株式会社東芝

2003年 6月16日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

太田 信一郎



出証番号 出証特2003-3046867

【書類名】 特許願

【整理番号】 A000300004

【提出日】 平成15年 1月31日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 H04N 5/00

【発明の名称】 受信装置及び受信方法

【請求項の数】 14

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都青梅市末広町2丁目9番地 株式会社東芝青梅事業所内

 【氏名】 三由 英輔

【特許出願人】

 【識別番号】 000003078

 【氏名又は名称】 株式会社 東芝

【代理人】

 【識別番号】 100058479

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 鈴江 武彦

 【電話番号】 03-3502-3181

【選任した代理人】

 【識別番号】 100091351

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 河野 哲

【選任した代理人】

 【識別番号】 100088683

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 中村 誠

【選任した代理人】

 【識別番号】 100108855

【弁理士】

【氏名又は名称】 蔵田 昌俊

【選任した代理人】

【識別番号】 100084618

【弁理士】

【氏名又は名称】 村松 貞男

【選任した代理人】

【識別番号】 100092196

【弁理士】

【氏名又は名称】 橋本 良郎

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 011567

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 受信装置及び受信方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 予め記録された予約情報に基づいて受信動作が制御される受信装置において、

前記予約情報を入力する入力手段と、

この入力手段で入力された予約情報を記録する記録手段と、

この記録手段に記録された予約情報の中から前記入力手段で入力された予約情報と競合するものを判別する判別手段と、

この判別手段で判別された予約情報を表示する表示手段とを具備してなることを特徴とする受信装置。

【請求項 2】 前記表示手段は、前記判別手段で判別された予約情報とともに、前記入力手段で入力された予約情報と前記記録手段に記録された予約情報とを表示することを特徴とする請求項 1 記載の受信装置。

【請求項 3】 前記表示手段は、表示された予約情報をその表示画面上で変更可能としたことを特徴とする請求項 2 記載の受信装置。

【請求項 4】 前記表示手段は、前記判別手段で判別された予約情報を識別子を用いて表示することを特徴とする請求項 1 記載の受信装置。

【請求項 5】 前記表示手段は、前記記録手段に記録された予約情報を表示するとともに、その表示された予約情報のうち前記判別手段で判別された予約情報を、他の予約情報とは異なる色で表示することを特徴とする請求項 1 記載の受信装置。

【請求項 6】 競合が生じた予約情報について、競合が生じないように変更した候補を生成して、前記表示手段に表示させる制御手段を具備してなることを特徴とする請求項 1 記載の受信装置。

【請求項 7】 前記制御手段は、前記表示手段に表示させた予約情報の候補を表示画面上で選択可能としたことを特徴とする請求項 6 記載の受信装置。

【請求項 8】 前記入力手段によって入力される予約情報が、前記記録手段に記録された予約情報と競合を生じないための条件を、前記表示手段に表示させ

る制御手段を具備してなることを特徴とする請求項 1 記載の受信装置。

【請求項 9】 前記入力手段によって入力された予約情報と、前記記録手段に記録された予約情報との競合する部分を、前記表示手段に図形的に比較表示させる制御手段を具備してなることを特徴とする請求項 1 記載の受信装置。

【請求項 10】 前記制御手段は、表示画面上で図形の形状を変更することによって、予約情報の変更を可能とすることを特徴とする請求項 9 記載の受信装置。

【請求項 11】 予め記録された予約情報に基づいて受信動作を制御する受信方法において、

前記予約情報を入力する工程と、

入力された予約情報を記録する工程と、

記録された予約情報の中から入力された予約情報と競合するものを判別する工程と、

判別された予約情報を表示する工程とを有することを特徴とする受信方法。

【請求項 12】 競合が生じた予約情報について、競合が生じないように変更した候補を生成して表示させる工程を有することを特徴とする請求項 11 記載の受信方法。

【請求項 13】 入力された予約情報が記録された予約情報と競合を生じないための条件を表示させる工程を有することを特徴とする請求項 11 記載の受信方法。

【請求項 14】 入力された予約情報と記録された予約情報との競合する部分を図形的に比較表示させる工程を有することを特徴とする請求項 11 記載の受信方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

この発明は、例えばテレビジョン放送等を受信する受信装置及び受信方法に係り、特にその放送予定番組を予約受信する機能の改良に関する。

【0002】

【従来の技術】

周知のように、首記の如き受信装置にあっては、放送予定されている番組の放送チャンネル、放送日（曜日）、放送開始／終了時間等の予約情報を予め入力設定しておくことにより、設定された日時に達するとその番組を自動的に受信するようにした、いわゆる、予約受信機能が備えられている。

【0003】

ところで、近年では、記憶素子の低価格化や大容量化に伴ない、多くの予約情報を設定することが可能になっている。このため、例えば同じ時間帯に2つ以上の異なるチャンネルの受信が設定されるというように、設定された複数の予約情報の相互間で競合が生じ易くなっている。

【0004】

しかしながら、現状の受信装置においては、ユーザが新規に入力した予約情報に、既に設定されている予約情報との間で競合が生じた場合、競合が生じた旨をユーザに報知することが行なわれるだけである。

【0005】

このため、報知を受けたユーザは、既に設定されている予約情報のリストを閲覧しながら、競合が生じないチャンネルや時間帯等を自分で検索して予約情報を入力し直さなければならず、予約情報の入力作業が煩雑になるという問題が生じている。

【0006】

特許文献1には、本来の録画予約に使用する録画予約情報の他に、キャンセル待ちの録画予約情報を記録しておき、本来の録画予約情報がキャンセルされたときに、自動的にキャンセル待ちの録画予約情報に基づく録画予約が行なわれるようにした構成が開示されている。

【0007】

また、特許文献2には、ユーザが所望の番組の開始時刻を入力すると、その番組の開始時刻及び終了時刻を番組表から取得し、取得した開始時間から終了時間までの間に放送される全ての番組情報を検索して表示させるようにした構成が開示されている。

【0008】

ところが、これらの特許文献1, 2には、いずれも、予約情報同士の間で競合が生じた場合に、競合の生じないチャンネルや時間帯等を検索して予約情報を入力し直すという、ユーザの作業負担を軽くするという点については、何らの記載もなされていないものである。

【0009】

【特許文献1】

特開2002-160256号公報

【0010】

【特許文献2】

特開2002-262189号公報

【0011】

【発明が解決しようとする課題】

そこで、この発明は上記事情を考慮してなされたもので、予約情報の相互間で競合が生じた場合に、競合する予約情報を表示して、ユーザによる予約情報の変更作業を支援し得る受信装置及び受信方法を提供することを目的とする。

【0012】

【課題を解決するための手段】

この発明に係る受信装置は、予め記録された予約情報に基づいて受信動作が制御されるものを対象としている。そして、予約情報を入力する入力手段と、この入力手段で入力された予約情報を記録する記録手段と、この記録手段に記録された予約情報の中から入力手段で入力された予約情報と競合するものを判別する判別手段と、この判別手段で判別された予約情報を表示する表示手段とを備えるようにしたものである。

【0013】

また、この発明に係る受信方法は、予め記録された予約情報に基づいて受信動作を制御するものを対象としている。そして、予約情報を入力する工程と、入力された予約情報を記録する工程と、記録された予約情報の中から入力された予約情報と競合するものを判別する工程と、判別された予約情報を表示する工程とを

有するようにしたものである。

【0014】

上記のような構成及び方法によれば、記録された予約情報の中から入力された予約情報と競合するものを判別して表示するようにしたので、予約情報の相互間で競合が生じた場合に、ユーザはどの予約情報と整合をとればよいかを直ちに知ることができ、ユーザによる予約情報の変更作業を支援することができる。

【0015】

【発明の実施の形態】

以下、この発明の実施の形態について、図面を参照して詳細に説明する。図1は、この実施の形態で説明するテレビジョン受信装置を示している。すなわち、符号11はチューナ部で、受信したテレビジョン放送信号から所望のチャンネルの映像信号を選局する。

【0016】

このチューナ部11で選局された映像信号は、信号処理部12に供給されて復調された後、表示部13により映像表示される。また、この信号処理部12で復調された映像信号は、記録再生部14に供給されて記録用のフォーマットに変換される。

【0017】

そして、この記録再生部14により記録用のフォーマットに変換され映像信号は、内蔵記録媒体としてのHDD (Hard Disk Drive) 15と、このテレビジョン受信装置に着脱自在なリムーバブル記憶メディア16とに、選択的に記録することが可能である。

【0018】

また、HDD 15に記録された映像信号と、リムーバブル記憶メディア16に記録された映像信号とは、記録再生部14により選択的に読み出されて再生用のフォーマットに変換され、表示部13に映像表示することが可能である。

【0019】

上記した一連の動作は、CPU (Central Processing Unit) 17によって統括的に制御されている。すなわち、このCPU 17は、記憶部18に記憶された

制御プログラムに基づいて、操作部 1 9 からの操作情報を反映するように各部を制御している。

【 0 0 2 0 】

また、この記憶部 1 8 は、操作部 1 9 を介して入力された予約情報を記録している。そして、CPU 1 7 は、タイマ 2 0 によって計測される時間や日付（曜日）等の情報を参照することにより、記憶部 1 8 に記録された予約情報を反映するように各部を制御している。

【 0 0 2 1 】

この予約情報に基づく各部の制御とは、例えばテレビジョン放送を受信して表示部 1 3 に表示させる動作、受信したテレビジョン放送の映像信号を HDD 1 5 またはリムーバブル記憶メディア 1 6 に記録させる動作、HDD 1 5 またはリムーバブル記憶メディア 1 6 に記録された映像信号を表示部 1 3 に表示させる動作等である。

【 0 0 2 2 】

上記のような構成となされたテレビジョン受信装置において、以下、図 2 に示すフローチャートを参照して、その特徴的な動作について説明する。まず、処理が開始（ステップ S 1 1）されると、CPU 1 7 は、ステップ S 1 2 で、操作部 1 9 を介して入力された新規の予約情報を取得する。

【 0 0 2 3 】

次に、CPU 1 7 は、ステップ S 1 3 で、既に記憶部 1 8 に記録されている複数の予約情報のうちから、予め設定された順序に基づいて 1 つの予約情報を取得する。その後、CPU 1 7 は、ステップ S 1 4 で、入力された予約情報と記憶部 1 8 から取得した予約情報とが競合しているか否かを判別する。

【 0 0 2 4 】

そして、競合していると判断された場合（YES）、CPU 1 7 は、ステップ S 1 5 で、記憶部 1 8 から取得した予約情報の識別子またはその内容を記憶部 1 8 に記録する。

【 0 0 2 5 】

このステップ S 1 5 の後、または、上記ステップ S 1 4 で競合していないと判

断された場合（NO）、CPU 17は、ステップS 16で、既に記憶部18に記録されている複数の予約情報の中に、入力された予約情報との競合の有無を判別していないものがあるか否かを判別する。

【0026】

そして、競合の有無を判別していないものがあると判断された場合（YES）、CPU 17は、ステップS 13の処理に移行され、記憶部18に記録されている複数の予約情報のうちから、次の順番の予約情報を取得する。

【0027】

また、ステップS 16で競合の有無を判別していないものがないと判断された場合（NO）、CPU 17は、ステップS 17で、ステップS 15で記憶部18に記録した競合有りの予約情報を全て表示部13に表示させて、処理を終了（ステップS 18）する。

【0028】

ここで、図3は、上記ステップS 17で表示部13に表示される画面の一例を示している。この画面に表示される内容は、既存予約と追加予約と警告との3つに大別される。

【0029】

このうち、既存予約は、記憶部18に既に記録されている複数の予約情報の内容を、予め設定された順序に基づいて一覧表示したものである。この既存予約においては、各予約情報に対してそれぞれ識別子として識別番号01～11が付されている。この識別番号は、予約情報が記憶部18に記録された状態で、CPU 17の制御に基づいて、自動的に付加される。

【0030】

また、追加予約は、ユーザが新規に入力した予約情報の内容を表示したものである。この追加予約に表示される予約情報の左側に表示された「++」は、競合があることを示している。そして、警告は、追加予約に表示される予約情報が、既存予約に一覧表示された予約情報のいずれと競合しているかを、識別番号で示している。

【0031】

上記した実施の形態によれば、新規に予約情報が入力された場合、既に記憶部 18 に記録されている予約情報のうち、競合する予約情報を表示するようにしたので、ユーザはどの予約情報と整合をとればよいかを直ちに知ることができ、ユーザによる予約情報の変更作業を支援することができる。この場合、競合した予約情報の識別子を表示させることにより、予約情報の内容を表示させるのに比べて、表示領域を少なくすることができる。

【0032】

また、図3では、既存予約と追加予約と警告とを表示させるようにしたが、競合している予約情報のみ、つまり、警告のみを表示させるようにしてもよいものである。

【0033】

さらに、図3において、警告の表示領域を削除して、既存予約と追加予約とを表示させるようにし、既存予約に表示されている複数の予約情報の中で、追加予約に表示されている予約情報と競合するものを、他の予約情報と異なる色で表示させるようにすることもできる。

【0034】

また、図3に示した表示画面上において、既存予約及び追加予約に表示された予約情報を選択的に変更することができるようにすることにより、予約情報の変更作業をさらに支援することができる。この場合、予約情報の変更により競合がなくなったら、警告が無表示となる。また、予約情報の変更により新たな競合が生じた場合には、その予約情報の識別番号が警告に表示されることになる。

【0035】

さらに、予約情報の競合が生じた場合、CPU17が、競合が生じないように変更した予約情報の候補を作成して表示し、表示画面上でユーザに所望の候補を選択させるようにすれば、予約情報の変更作業をより一層支援することが可能となる。

【0036】

なお、予約情報を変更する際には、「毎日」、「毎週」、「毎月」等の定期的な項目について、変更内容を永続させるか、所定期間（例えば「該当日のみ」、

「該当週のみ」等）だけ一時的に変更するかを、ユーザが選択できるようにすることもできる。このようにすれば、一時的な競合のために予約情報を変更することを避けることが可能となる。

【 0 0 3 7 】

また、競合する予約情報を表示するだけでなく、例えば図 4 に示すように、既に予約が設定されている既存の時間帯と、新規に入力された予約情報の時間帯とを図形的に並列表示することにより、どの時間帯が競合していてどの時間帯が予約可能かを、ユーザが容易に比較して認識することが可能となる。つまり、既存の予約情報と競合しないための条件をユーザに呈示することで、予約情報の変更作業を支援することもできる。

【 0 0 3 8 】

さらに、図 4 に示す画面上において、例えばマウス等のポインティングデバイスを利用して、図形の形状を変化させることによって予約の時間帯を変更することができるようになれば、ユーザによる予約情報の変更作業をより容易化することができる。

【 0 0 3 9 】

なお、この発明は上記した実施の形態に限定されるものではなく、この外その要旨を逸脱しない範囲で種々変形して実施することができる。

【 0 0 4 0 】

【発明の効果】

以上詳述したようにこの発明によれば、予約情報の相互間で競合が生じた場合に、競合する予約情報を表示して、ユーザによる予約情報の変更作業を支援し得る受信装置及び受信方法を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 この発明の実施の形態を示すもので、テレビジョン受信装置を説明するために示すブロック構成図。

【図 2】 同実施の形態におけるテレビジョン受信装置の特徴的な動作を説明するために示すフローチャート。

【図 3】 同実施の形態におけるテレビジョン受信装置に表示される画面の

一例を説明するために示す図。

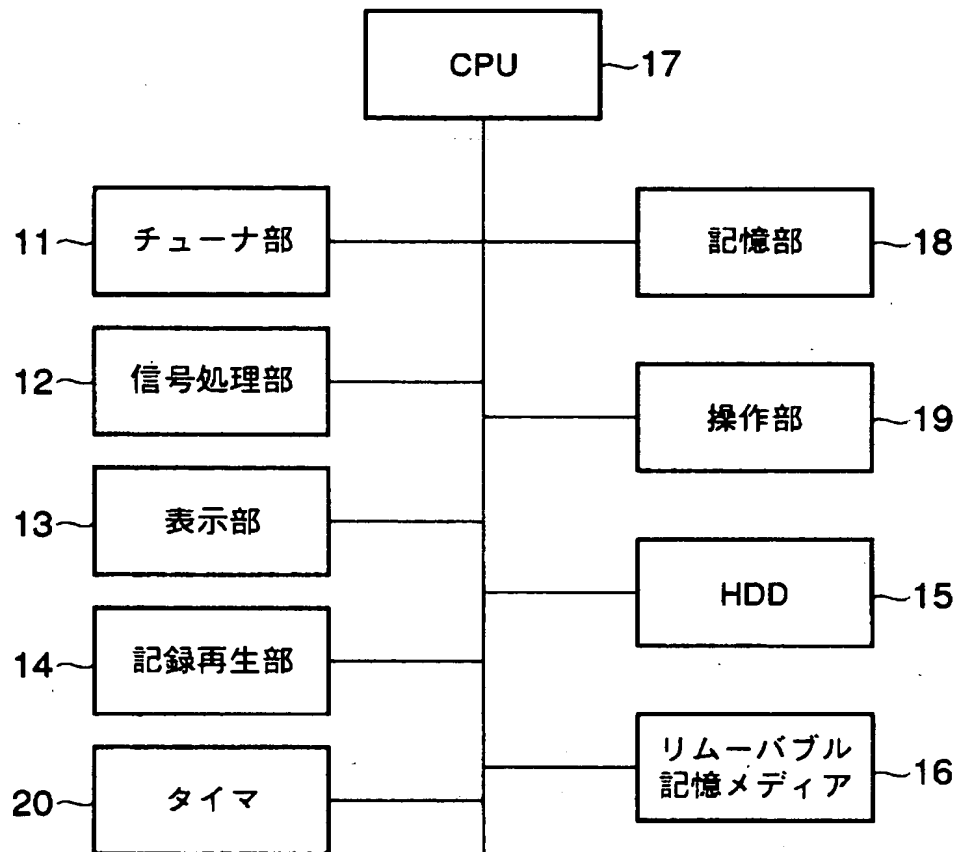
【図 4】 同実施の形態におけるテレビジョン受信装置に表示される画面の他の例を説明するために示す図。

【符号の説明】

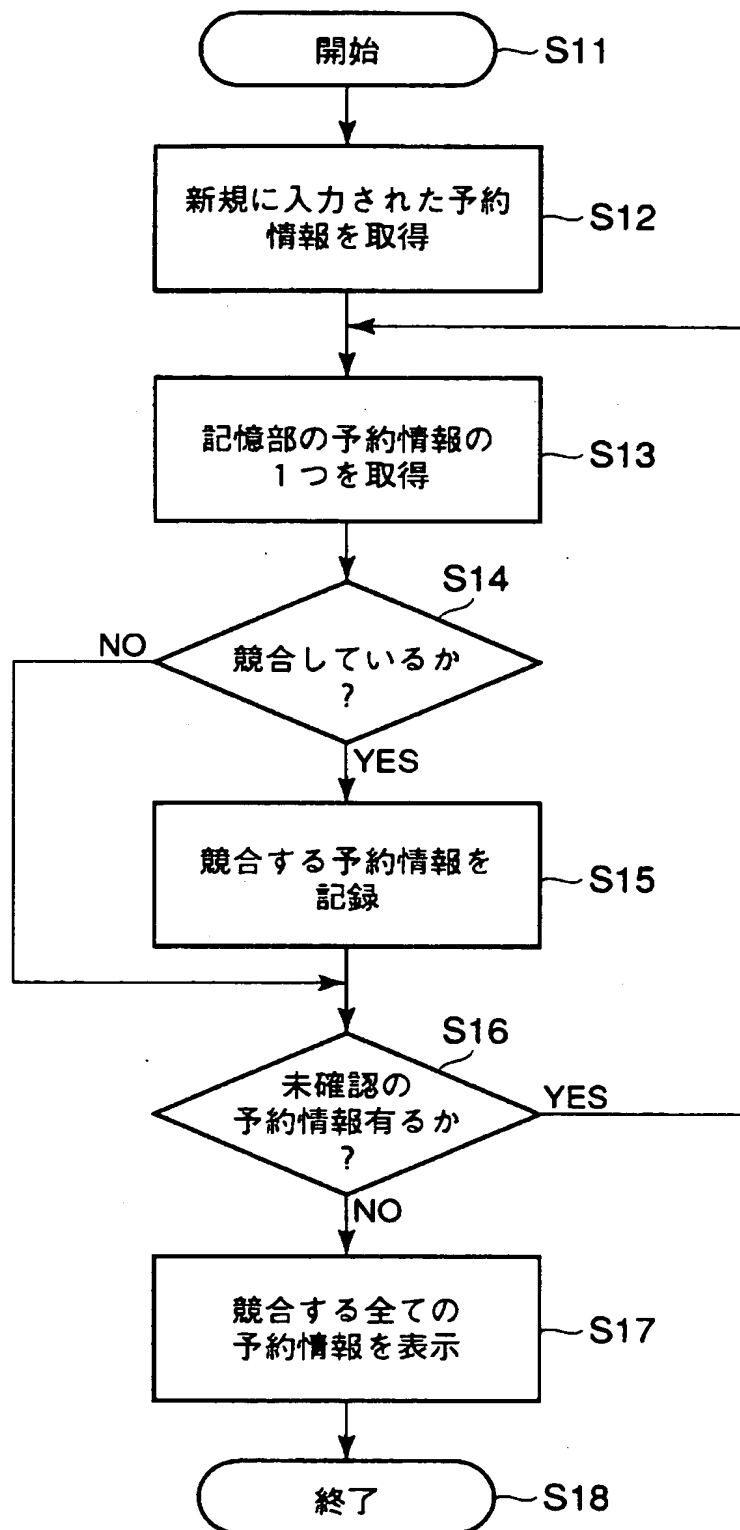
1 1 …チューナ部、 1 2 …信号処理部、 1 3 …表示部、 1 4 …記録再生部、 1 5 …HDD、 1 6 …リムーバブル記憶メディア、 1 7 …CPU、 1 8 …記憶部、 1 9 …操作部、 2 0 …タイマ。

【書類名】 図面

【図 1】



【図 2】



【図3】

01	平日12時00分～13時00分	VHF09channel
02	平日23時00分～23時15分	VHF02channel
03	毎週日曜20時00分～20時45分	VHF02channel
04	毎週木曜19時00分～19時30分	VHF11channel
05	毎週土曜18時00分～18時30分	VHF02channel
06	毎月第1木曜21時00分～22時54分	VHF02channel
07	10月01日火曜21時00分～22時54分	VHF07channel
08	10月02日水曜19時00分～19時30分	VHF05channel
09	10月03日木曜20時00分～20時54分	VHF02channel
10	10月04日金曜21時00分～22時54分	VHF05channel
11	10月05日土曜14時00分～16時00分	VHF11channel

既存予約

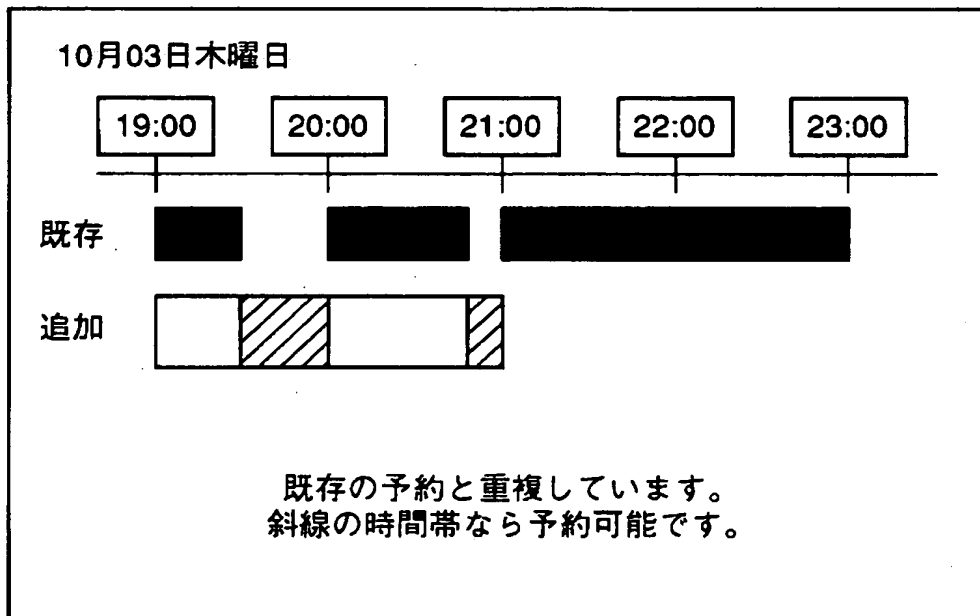
++ 10月21日木曜19時00分～21時00分 VHF09channel

追加予約

04、06、09番の予約と重複します。

警告

【図 4】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 この発明は、予約情報の相互間で競合が生じた場合に、競合する予約情報を表示して、ユーザによる予約情報の変更作業を支援し得る受信装置及び受信方法を提供することを目的としている。

【解決手段】 予約情報を入力する入力手段 1 9 と、この入力手段 1 9 で入力された予約情報を記録する記録手段 1 8 と、この記録手段 1 8 に記録された予約情報の中から入力手段 1 9 で入力された予約情報と競合するものを判別する判別手段 1 7 と、この判別手段 1 7 で判別された予約情報を表示する表示手段 1 3 とを備える。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000003078]

1. 変更年月日 2001年 7月 2日
[変更理由] 住所変更
住 所 東京都港区芝浦一丁目1番1号
氏 名 株式会社東芝
2. 変更年月日 2003年 5月 9日
[変更理由] 名称変更
住 所 東京都港区芝浦一丁目1番1号
氏 名 株式会社東芝